



2022 年度政策検討会を開催しました!!

2022 年 10 月 19 日（水）に三井ガーデンホテル千葉において 2022 年度政策検討会を開催しました。当日は 5 会員生協から 59 名の方が参加しました。

政策検討会は次年度の計画を考えるうえで、必要と思われるテーマを検討し、毎年、10 月から 12 月に開催してきました。今回は感染対策を実施したうえで、3 年ぶりに実参加として開催いたしました。



★当日のプログラム

- 10：00～開会およびあいさつ
- 10：05～講演
『ケアラー支援の課題と必要な支援
～ケアラーを孤立させない地域に～』
- 11：35～質疑応答
- 12：00～昼食
- 12：45～グループワーク
- 13：25～グループワーク発表
- 13：55～講師より
- 14：00 閉会

★開会あいさつ

千葉県生協連 首藤会長理事

コロナ禍で弱い立場の人々への影響は大きく、貧困問題や格差社会など、これまでもあった社会問題はさらに複雑化、深刻化しています。本日はケアラーについて現状と必要な支援を学び、「安心して暮らし続けられる地域社会のために自分は何ができるのか」を皆さんと一緒に考えたいと思います。

★講演『ケアラー支援の課題と必要な支援 ～ケアラーを孤立させない地域に～』

講師 日本女子大学名誉教授 堀越栄子氏

本日の目的の1つ目はケアラーとはどんな人なのかあるいはヤングケアラーとはどんな子どもなのか、その現状や抱える課題を理解すること、2つ目はケアラー支援というと要介護者の支援をイメージするが、ケアラーがより良い生活や人生を送れるよう支援することを理解すること、3つ目はケアラーやヤングケアラーを支援するためにどのような支援・施策が必要なのかを一緒に考えてみたいと思います。ケアラーとはこころやからだに不調のある人への「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」などケアに必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことです。ケアを必要とする人は増加の傾向があり、誰もがケアラーになる可能性があります。ケアラーは自分のことは後回しにして、心身の健康を損ね、経済的に苦しみ、精神的に追い詰められ、社会的に孤立し、理解と支援を求めています。特に18歳未満のヤングケアラーはケアラーの自覚が無く、相談もできず、学校生活に影響することも多くあります。まずは、周りの大人が気付いてあげることが必要であり、そのためにも法律や条例を制定し、団体・地域のネットワークでケアラーを支えることが重要です。



講師の堀越先生

★ グループワークの報告

- ・ケアラー・ヤングケアラーについて知らないことが多かったが、近所にもヤングケアラーがいることに気づいた。地域に帰った時に知ってもらう場を作って、知る人を増やしたいと思う。
- ・生協では、コミュニティづくりができるので、色々な人がつながって協力することが大切。困っている人がいたら声をかけていきたい。
- ・ヤングケアラーへの支援として、地域の中で関係を創ってコミュニケーションをとることが大切。近所の子供の様子が分からないのでたくさんの人にケアラーの実態を知ってもらう事が大切。
- ・ヤングケアラーに発信してもらおうツールとして子どもでも分かるようなステッカーがあると何かあった時に駆け込むことができると思う。周りの大人たちがヤングケアラーの実態を知って、アンテナを高く持ち、気付いてあげることが大切。



【堀越先生より】

- ・生協の組合員はくらしにアンテナが高く、困った人がいたら何とかしようとする人が多いので、是非、『知ってもらおう』ということを地域に伝えてほしい。ケアラーにとって、社会に知ってもらうことがとても大切なことになる。生協は地域の拠点で啓発的に知ってもらおう事や狭い範囲で直接伝えることなど、色々なことができると思う。ヤングケアラーは知ってもらおう事を望んでいる。生協は一人一人の地域の気づきから、社会が暖かくなるような仕組みに変える力をもっているなのでこれからも一緒に頑張りたい。

★ 参加者アンケートより（一部抜粋）

(1) 今回の講演の内容について

- ・「ケアラー」についてあまり知識が無く、また日常的にも自分自身体験したことはありません。講演を聴いてケアラーの問題について非常に見えづらい、気づきにくいという事がよく分かりました。まずはこの問題に目を向けること、目を向ける人が一人でも多くなる事が大切であると感じました。

(2) グループワークについて

- ・県内複数の生協がひとつの課題について、講演を聴き、交流することで協力できることがあるのではという思いを強くしました。
- ・いろいろな生協、団体の方々とお話できて大変勉強になりました。どこも助け合いの組織という事で話をしているうちに色々な働きかけができることを話しました。生協には多方面にベースを持っていて底力がある、その強みを活かして世の中を少しでも良くしていきたいです。



以上